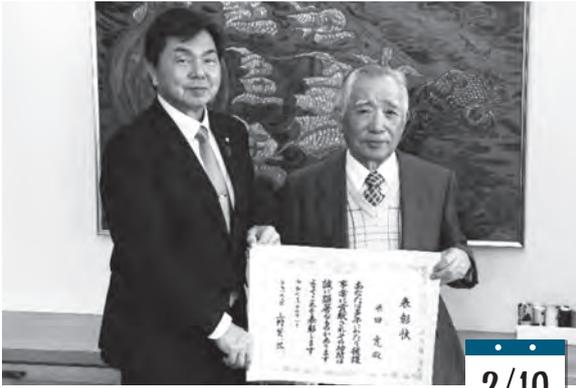


▶表彰を受け、町長に報告



2/10
(火)

「援護事業功労者 厚生労働大臣表彰」受賞を報告

遺族連合会会長米田寛さんが、このたび「令和7年度援護事業功労者厚生労働大臣表彰」を受賞され、2月10日(火)に町長室で報告会を行いました。

この賞は、長年にわたり戦傷病者や戦没者遺族等の援護事業に尽力し、顕著な功績を挙げた人に贈られるもので、厚生労働省から表彰状と記念品の木杯が授与されました。米田さんは、約29年間事業に携わり、遺族の福祉向上に貢献され、報告会では「誰もが平和に暮らせることが私の願いであり、遺族の願いです」と話しました。

▶伯耆一学習の実践報告 岸本中学校



2/7
(土)

ほうき「ひとまち未来づくり」アクションフォーラム

ほうき「ひとまち未来づくり」アクションフォーラムが2月7日(土)、鬼の館にて開催されました。

本フォーラムは、学校や保育所と地域や家庭がよりよい「ひと・まち・未来」を創ることを共有し、子どもたちが未来の創り手となるために必要な資質や能力を育むことを目的に行われます。当日は、教育関係者や保護者、地域ボランティア、地域住民など111人が参加しました。講演を通じて、これからの地域づくりや子どもたちの育成について考える良い機会となりました。

▶つくしの会特製のジャムを購入



2/21(土)
2/22(日)

たたらまつり

二部地区恒例の「たたらまつり」が2月21(土)から22日(日)に、二部公民館で開催され、多く来場者で活気にあふれました。

特別展では、「特別展40回のあゆみ」あるときあなたは」と題し、二部地区の歴史を振り返るとともに、新たに発見された資料の展示が行われ、来場者は興味深そうに見入っていました。その他にも、お蕎麦やぜんざい、うたうおでんやによるアツアツおでんなどの温かい料理が提供され、会場は終始にぎわいを見せました。

▶ぜんざいを食べながら会話を楽しむ来場者



2/14(土)
2/15(日)

だんだんまつり

住民の交流や発表の場として行われる「だんだんまつり」が、2月14日(土)から15日(日)の2日間、伯耆町文化センターにて行われました。

オープニングイベントでは、餅つき大会が行われ、でき上がったお餅で来場者にぜんざいがふるまわれました。このほかにも、だんだん名物のぼて茶や抹茶の無料提供、児童や地域住民の制作した作品の展示があり、来場者はさまざま催しを満喫しました。イベントの最後には、銭太鼓などの発表会があり、会場は大いににぎわいました。